審　査　の　結　果

１．平成２５年度一般会計及び特別会計決算額は、関係帳票、証拠書類とも合致しており、決算書の計数は正確であると認められた。

２．各会計の歳入歳出の執行、収入支出の事務処理及び財産の管理については、おおむね適正に行われたものと認められた。

決　算　の　概　要

１．各会計の総括（別表１－３参照）

平成２５年度の各会計の決算を総括してみると、下記表のとおりである。

歳入決算額 20,059,113 千円、歳出決算額 20,198,966 千円で歳入歳出差引額△ 139,853 千円となり、前年度を 425,004 千円下回る額である。翌年度に繰越すべき財源は 169,023 千円で実質収支額△ 308,876 千円の赤字となっている。

歳入決算額は調定額に対し、収入率 93.9 ％で 20,059,113 千円が収入済額となっている。歳出決算額は、執行率 92.4 ％で 20,198,966 千円が支出済額で、翌年度への繰越額 1,429,437 千円で不用額 236,922 千円となっている。

（単位:千円）

区分 / 会計		予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支
一般会計		13,887,559	13,233,422	12,991,996	241,426	64,147	177,279
特別会計	国民健康保険	4,992,550	4,408,093	4,901,501	△ 493,408	0	△ 493,408
	後期高齢者医療	218,255	218,173	217,242	931	0	931
	下水道事業	970,261	724,204	713,293	10,911	8,200	2,711
	土地区画整理事業	1,760,063	1,438,554	1,339,147	99,407	96,676	2,731
	農業集落排水事業	36,638	36,667	35,787	880	0	880
	小計	7,977,767	6,825,691	7,206,970	△ 381,279	104,876	△ 486,155
総決算額		21,865,326	20,059,113	20,198,966	△ 139,853	169,023	△ 308,876

２．一般会計（別表１－１・別表２参照）

執行状況は、次表のとおりである。

一般会計歳入決算状況表　（単位:千円　%）

区分＼年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	対前年度比較(25対24)	
				増　減	増減率
予算現額	13,887,559	13,079,406	11,935,212	808,153	6.2
調定額	13,900,658	13,271,257	12,121,038	629,401	4.7
収入済額	13,233,422	12,387,281	11,371,464	846,141	6.8
不納欠損額	11,703	5,578	15,422	6,125	109.8
収入未済額	656,528	881,905	734,955	△ 225,377	△ 25.6
収入率	95.2	93.3	93.8	1.9	
欠損率	0.1	0.0	0.1	0.1	
未収率	4.7	6.6	6.1	△ 1.9	

調定額は、前年度に比べ 629,401 千円（4.7 %）増加、収入済額も 846,141 千円（6.8 %）増加している。

また、不納欠損額は 6,125 千円（109.8 %）増加、収入未済額は△ 225,377 千円（25.6 %）減少している。

決算収支について、歳入歳出差引額（形式収支額）は、241,426 千円で、これから翌年度へ繰越された事業に充当すべき財源 64,147 千円を控除した実質収支額は 177,279 千円となっている。この実質収支額から前年度の実質収支額を控除した単年度収支額△ 150,267 千円、積立金 169,012 千円、繰上償還金 0 円と積立金取崩額 134,773 千円を控除した実質単年度収支額は、△ 116,028 千円の赤字となっている。

(1)　歳　入（別表３参照）

財源別状況は、次表のとおりである。

（単位:千円　%）

区分＼年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	対前年度比較(25対24)	
				増　減	増減率
自主財源 (構成比)	5,067,936 (38.3)	4,559,999 (36.8)	4,975,891 (43.8)	507,937 1.5	11.1
依存財源 (構成比)	8,165,486 (61.7)	7,827,282 (63.2)	6,395,573 (56.2)	338,204 △ 1.5	4.3
合　計	13,233,422	12,387,281	11,371,464	846,141	6.8

自主財源は 507,937 千円（11.1 %）増加している。主な理由は、繰越金 138,806 千円（47.5 %）、繰入金 124,005 千円（103.6 %）、町税 108,561 千円（3.25 %）、等が増加したことによるものである。

依存財源は 338,204 千円（4.3 %）増加している。主な理由は、県支出金 453,801 千円（21.1 %）等が増加したことによるものである。

(2)　歳　出（別表１－１・別表２・別表７・別表８・別表９参照）

執行状況は、次表のとおりである。

一般会計歳出決算状況表　（単位:千円　% ）

区分＼年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	対前年度比較(25対24)	
				増　減	増減率
予算現額	13,887,559	13,079,406	11,935,212	808,153	6.2
支出済額	12,991,996	11,956,389	11,079,378	1,035,607	8.7
執行率	93.6	91.4	92.8	2.2	2.4
翌年度繰越額	757,280	965,857	752,639	△ 208,577	△ 21.6
不用額	138,282	157,160	103,195	△ 18,878	△ 12.0

支出済額は、前年度に比べ 1,035,607 千円（8.7 %）増加、予算執行率は 2.2 %上昇している。翌年度繰越額は△ 208,577 千円（21.6 %）減少している。

不用額は△ 18,878 千円（12.0 %）減少している。不用額で主なものは、総務費が 15,216 千円、民生費が 42,658 千円、衛生費 10,947 千円、教育費 22,460 千円となっている。

次に、款別の支出済額で主なものは、総務費 1,240,531 千円（構成比 9.6 %）、民生費　4,779,263 千円（同 36.8 %）、衛生費 751,050 千円（同 5.8 %）、土木費 2,261,397 千円（同 17.4 %）、教育費 1,596,436 千円（同 12.3 %）、公債費 1,026,157 千円（同 7.9 %）となる。

なお、増加した主なものは、土木費 519,630 千円（29.8 %）、教育費 242,566 千円（17.9 %）、農林水産費 174,645 千円（90.0 %）、商工費 141,157 千円（101.1 %）であり、減少した主なものは、総務費△ 111,118 千円（8.2 %）となる。

なお、消費的経費のうち人件費が町税及び歳出決算額に占める割合は、次表のとおりである。

（単位:千円、%）

区分＼年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
人　件　費（a）	1,628,312	1,581,252	1,550,429
町　　税（b）	3,457,487	3,348,926	3,279,467
歳出決算額（c）	12,991,996	11,956,389	11,079,378
人件費が町税に占める割合（a／b）	47.1	47.2	47.3
人件費が歳出決算額に占める割合　（a／c）	12.5	13.2	14.0

人件費が町税に占める割合は、0.1 %減少、人件費が歳出決算額に占める割合も 0.7 %減少している。

３．特別会計

(1)　国民健康保険（別表１－１・別表１０・別表１１・１１－２・１１－３参照）

決算状況は、次表のとおりである。

（単位:千円　%）

区分＼年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	対前年度比較(25対24)	
				増　減	増減率
予算現額	4,992,550	4,767,576	4,417,124	224,974	4.7
調定額	4,570,587	4,560,812	4,342,962	9,775	0.2
収入済額	4,408,093	4,380,738	4,163,028	27,355	0.6
不納欠損額	4,425	8,041	5,899	△ 3,616	△ 45.0
収入未済額	159,516	172,099	174,233	△ 12,583	△ 7.3
収入率	96.4	96.1	95.9	0.3	
欠損率	0.1	0.2	0.1	△ 0.1	
未収率	3.5	3.8	4.0	△ 0.3	
支出済額	4,901,501	4,619,209	4,329,278	282,292	6.1
執行率	98.2	96.9	98.0	1.3	
翌年度繰越額	0	0	0	0	0.0
不用額	91,049	148,367	87,846	△ 57,318	△ 38.6

歳入歳出決算状況は、予算現額 4,992,550 千円に対し、歳入額 4,408,093 千円（調定に対する収入率 96.4 %）、歳出額 4,901,501 千円（執行率 98.2%）で前年度に比べ、歳入額で 27,355 千円（0.6 %）の増、歳出額で 282,292 千円（6.1 %）の増となり、前年度を上回る決算額となっている。

決算収支について、実質収支額は△ 493,408 千円の赤字となっている。

決算額の前年度との主な増減状況をみると歳入では、前期高齢者交付金△ 41,849 千円（15.5 %）の減となっているものの、繰入金 25,705 千円（5.9 %）、国民健康保険税 21,094 千円（3.2 %）が増となっており、歳入総額は 27,354 千円（0.6 %）増となっている。

歳出では、保険給付費 111,308 千円（4.1 %）、前年度繰上充用金 72,221 千円（43.4 %）、後期高齢者支援金等 26,088 千円（4.8 %）等で増となり、歳出総額では、282,291 千円（6.1 %）の増となっている。

（２） **下水道事業**（別表１－１・別表１２参照）

決算状況表は、次表のとおりである。

（単位:千円　％）

区分＼年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	対前年度比較(25対24)	
				増　減	増減率
予算現額	970,261	861,919	763,130	108,342	12.6
調定額	877,702	811,339	724,752	66,363	8.2
収入済額	724,204	723,129	663,791	1,075	0.1
不納欠損額	220	0	0	220	皆増
収入未済額	153,278	88,210	60,962	65,068	73.8
収入率	82.5	89.1	91.6	△ 6.6	△ 7.4
欠損率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未収率	17.5	10.9	8.4	6.6	60.6
支出済額	713,293	713,622	661,014	△ 329	0.0
執行率	73.5	82.8	86.6	△ 9.3	△ 11.2
翌年度繰越額	253,856	144,893	99,482	108,963	75.2
不用額	3,112	3,404	2,635	△ 292	△ 8.6

歳入歳出決算額は、予算現額 970,261 千円に対し、歳入額 724,204 千円（調定に対する収入率 82.5 ％）、歳出額 713,293 千円（執行率 73.5 ％）で前年度に比べ歳入は 1,075 千円（0.1 ％）の増、歳出は△ 329 千円（0.0 ％）の減となっている。

決算収支は、歳入で県支出金 45,186 千円（69.0 ％）、諸収入 22,567 千円（446.5 ％）等が増となったものの、国庫支出金△ 64,577 千円（43.8 ％）等が減となり、歳入総額は 1,075 千円（0.1 ％）の増となっている。

歳出では、増減額が小さく、△ 329 千円（0.0 ％）の減ではあるが前年度とほぼ同額となっている。

歳入歳出において前年度とほぼ同額であるが、実質収支額は△ 1,830 千円（40.3 ％）の減で 2,711 千円の黒字となった。

（３） **土地区画整理事業**（別表１－２・別表１３）

決算状況表は、次表のとおりである。

（単位:千円　%）

区分＼年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	対前年度比較(25対24)	
				増　減	増減率
予算現額	1,760,063	1,586,798	1,732,955	173,265	10.9
調定額	1,746,979	1,425,500	1,654,912	321,479	22.6
収入済額	1,438,554	1,239,180	1,386,091	199,374	16.1
不納欠損額	0	0	0	0	0.0
収入未済額	308,425	186,320	268,821	122,105	65.5
収入率	82.3	86.9	83.8	△ 4.6	△ 5.3
欠損率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未収率	17.7	13.1	16.2	4.6	35.1
支出済額	1,339,147	1,161,506	1,343,105	177,641	15.3
執行率	76.1	73.2	77.5	2.9	4.0
翌年度繰越額	418,301	422,108	388,376	△ 3,807	△ 0.9
不用額	2,615	3,184	1,474	△ 569	△ 17.9

歳入歳出決算額は、予算現額 1,760,063 千円に対し、歳入額 1,438,554 千円（調定に対する収入率 82.3 %）、歳出額 1,339,147 千円（執行率 76.1 %）で、前年度に比べて歳入額は、199,374 千円（16.1 %）、歳出額は、177,641 千円（15.3 %）の増となっている。

決算収支は、歳入では、県支出金 284,264 千円（1,163.6 %）、等が増になり、国庫支出金△ 170,029 千円（皆減）等の減はあるが、歳入総額では、199,374 千円（16.1 %）の増となっている。

歳出では、土地区画整理事業費 125,276 千円（12.7 %）等が増となっている。

歳入歳出において全体的に増となり、実質収支額は、2,731 千円の黒字となっている。

（４） **農業集落排水事業**（別表１－２・別表１４参照）

決算状況表は、次表のとおりである。

（単位:千円　%）

区分＼年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	対前年度比較(25対24)	
				増　減	増減率
予算現額	36,638	53,269	36,934	△ 16,631	△ 31.2
調定額	36,691	53,422	37,269	△ 16,731	△ 31.3
収入済額	36,667	40,934	37,189	△ 4,267	△ 10.4
不納欠損額	0	0	0	0	0.0
収入未済額	24	12,488	80	△ 12,464	△ 99.8
収入率	99.9	76.6	99.8	23.3	30.4
欠損率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未収率	0.1	23.4	0.2	△ 23.3	△ 99.6
支出済額	35,787	39,894	35,182	△ 4,107	△ 10.3
執行率	97.7	74.9	95.3	22.8	30.4
翌年度繰越額	0	12,432	0	△ 12,432	皆減
不用額	851	943	1,752	△ 92	△ 9.8

歳入歳出決算額は、予算現額 36,638 千円に対し、歳入額は、36,667 千円（調定に対する収入率 99.9 %）、歳出額は 35,787 千円（執行率 97.7 %）で前年度に比べ歳入額が△ 4,267 千円（10.4 %）、歳出額が△ 4,107 千円（10.3 %）の減となっている。

決算収支は、歳入で使用料及び手数料△ 5,293 千円（50.9 %）が減となり、繰入金 2,658 千円（9.5 %）が増となったものの、歳入総額で△ 4,267 千円（10.4 %）の減となっている。

歳出では、全ての款別において減となったため、歳出総額も 4,107 千円（10.3 %）の減となった。

歳入歳出において全体的に減となり、実質収支額は、880 千円の黒字となっている。

（５） **後期高齢者医療**（別表１－２・別表１５参照）

決算状況表は、次表のとおりである。

（単位:千円　%）

区分＼年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	対前年度比較(25対24)	
				増　減	増減率
予算現額	218,255	192,468	179,337	25,787	13.4
調定額	218,912	196,266	180,536	22,646	11.5
収入済額	218,173	195,876	178,856	22,297	11.4
不納欠損額	0	0	3	0	0.0
収入未済額	895	482	1,826	413	85.7
収入率	99.7	99.7	99.1	0.0	0.0
欠損率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未収率	0.4	0.2	1.0	0.2	100.0
支出済額	217,242	191,367	177,772	25,875	13.5
執行率	99.5	99.4	99.1	0.1	0.1
翌年度繰越額	0	0	0	0	0.0
不用額	1,013	1,101	1,565	△ 88	△ 8.0

歳入歳出決算額は、予算現額 218,255 千円に対し、歳入額 218,173 千円（調定に対する収入率 99.7 %）、歳出額 217,242 千円（執行率 99.5 %）で前年度に比べ歳入額が 22,297 千円（11.4 %）の増、歳出額が 25,875 千円（13.5 %）の増となっている。

決算収支については、歳入で後期高齢者医療保険料 15,932 千円（11.7 %）、繰越金 3,425 千円（316.0 %）等が増となり、歳入総額は、22,297 千円（11.4 %）の増となっている。

歳出では、全ての款別において増となり、とくに後期高齢者医療広域連合納付金 25,380 千円（14.0 %）の増があったため、歳出総額が 25,875 千円（13.5　%）の増となった。

歳入歳出において全体的に増となり、実質収支額は、931 千円の黒字となっている。

４．財産に関する調書

（１）土地及び建物

平成２５年度末における土地の面積は、560,397 ㎡（行政財産 546,454 ㎡、普通財産 13,943 ㎡）で、前年度に比べ行政財産 876 ㎡の増、普通財産 343 ㎡の減、合計で 533 ㎡増加している。これはウガンヌ前公園 876 ㎡の増加分と町有地を津嘉山北土地区画整理地内に換地したことによる減分である。

平成２５年度末における建物の面積は、82,335 ㎡、（行政財産 80,074 ㎡、普通財産 2,261 ㎡）で、前年度末に比べ行政財産 147 ㎡増加している。これは北丘幼稚園の給食受室増築及び翔南小学校エレベーター施設、身障用トイレの増築等によるものである。

（２）基　金

一般会計においては、積立額 38,510 千円で、取崩額が 83,837 千円になり、年度末現在高が 2,593,315 千円となっている。また、国民健康保険特別会計の国民健康保険給付準備基金は、本年度は積立・取崩しもなく、年度末現在高 96 千円、土地区画整理事業特別会計の土地区画整理事業基金は、75,626 千円の積み立てを行い、年度末現在高 138,955 千円となっている。

（３）有価証券

有価証券は、沖縄電力株式会社 他５社の株券を引続き保有しており、平成２５年度末現在高は、13,426 千円となっている。

（４）物　品

（ア）備　品

取得価格が 100 万円以上の備品は、平成２５年度末現在９２件（一般会計９１件、特別会計１件）で、前年度末現在８３件（一般会計８２件、特別会計１件）に比べ９点増加している。

（イ）公用車

平成２５年度末現在５８台（一般会計５６台、特別会計２台）で、前年度末現在高５７台（一般会計５５台、特別会計２台）に比べ１台増加している。

（５）出資・出捐金による権利

平成２５年度末における出資･出捐金団体は、沖縄県建設技術センター他２３団体で、平成２５年度末現在高は、124,964 千円で前年度末から増減はない。

（６）　債　権

（ア）土地開発基金貸付金は、平成２５年度中は貸付金はなく、年度末貸付残高は 0 円となっている。

（イ）下水道事業の水洗便所改造資金貸付金は、平成２５年度中の貸付は、１件 300 千円を貸付し、２２件 1,980 千円が償還された。また平成２５年度から宮城地区に係る農業集落排水事業特別会計を下水道事業特別会計へ移管した。そのため宮城地区に係る農業集落排水事業貸付金の平成２４年度末貸付残高 352 千円も移管され、年度末貸付残高は、2,150 千円となっている。なお、宮城地区に係る償還は、４件 212 千円だった。

（ウ）農業集落排水事業の水洗便所改造資金貸付金は、全額が宮城地区に係る貸付金だったため、移管後の平成２５年度末貸付残高は、0 円となっている。